

○植木邦和編 「水草の科学」(研成社, 1984年10月, 168頁、1,200円)

1. 水草とは(大滝末男)、2. 水草の生活環境と物質生産(生嶋 功)、3. 水草のはびこり(植木邦和)、4. 水生雑草の利用考(沖 陽子)の4部からなり、それぞれ水草の概説、その生態学的側面、近年の異常繁茂の実態、そして、水草利用の試みが紹介されている。多方面から水草が注目され、実際に水草の調査研究に取り組む方がふえている今日、時宜を得た企画と言える。

ただ、「1. 水草とは」の部分は、もう少し内容的に正確を期してほしかったと苦言を呈しておく必要がある。生嶋、植木、沖三氏の分担された部分は、意見の違いはあっても安心して読めるのに対し、大滝氏の担当された部分には、思い込みや不注意によると思われる誤りが各所に目につくのである。すぐにそれとわかる箇所は別に、何げなく読みすごしてしまいそうな所に不正確なことが書いてある。「十一時頃から二時間ぐらい開花するのは、……オニバスなどで……」(36頁)、「葉腋にできる殖芽には、トチカガミ、……などがある」(29頁)、といったのがその例で、これらは、一見ささいなことではあるが、自分で観察経験のある方や、この方面の文献に通じておられる方でなければ誤りにあることに気づかないだけに、始末に終えないとも言える。同様の例が他にもあるので、読者の注意を促しておきたい。

ともあれ、これだけ多方面の話題が盛られた類書は、今のところ我が国にはないので、水草研究会会員の皆様には、ぜひ一読していただきたい一冊である。

(角野康郎)

○会員移動

<新入会>



<住所変更>



○投稿のお願い

この会報は、研究発表、情報交換、交流の場として、全ての会員に開かれています。水草に関するさまざまな原稿を、御気軽に投稿下さい。

○原稿の送り先 〒657 神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学教養部 角野 康郎宛

○次号発行予定 1985年3月(早い目に原稿をお送り下さい。)

○別刷御希望の方は、投稿時にお申し込み下さい(実費著者負担、50部以上50部単位)。

○会費納入のお願い

昭和60年度会費(2,500円)を納入下さい。過年度分会費未納の方は、合わせて御送金下さい。

59年度会費 2,500円 58年度会費 2,000円

送金先 振替口座 神戸 7-13829

水草研究会

※今年度は、会費納入率85%を期待(!)して、会報の発行計画を立ててきましたが、最終的な納入率は、70%にとどまる見込みで、赤字が心至の情勢となっています。このままでは、会報の頁数切り詰めや、会費値上げを余儀なくされます。このような事情をお察しいただき、会費の早期納入をお願い致します。なお、退会される方は、必ず事務局まで御一報下さい。

※既にお気付きのように、会報をお届けする宛名ラベルを新しく作り直しました。表記に誤りがございましたらお知らせ下さい。また、送り先の変更(自宅⇄勤務先)を御希望の場合は、会費納入時にでも書きそえておいて下さい。

水草研究会会報 No 18 (1984年12月)

[Bulletin of Water Plant Society, Japan]

発行 水草研究会(神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学教養部生物学教室内)

編集 角野 康郎

印刷 中村印刷株式会社

(神戸市灘区友田町3-2-3)